

# 安保廃止法案審議せず

## 会期末まで2ヵ月 与党「決着済み」

自民、公明両党は二十日、野党が衆院に共同提出した安全保障関連法の廃止法案を今国会で審議入りさせず廃案に持ち込む方針を決めた。安保法施行の翌日に、国会会期末まで二ヵ月も残しての決断となる。安倍晋三首相は法律について国民に丁寧の説明すると繰り返していたが、違憲性などをめぐる本格的な議論は行われないことになる。

(古田哲也)

自民党の谷垣禎一、公明党の井上義久両幹事長らは二十日、都内で会談。廃止法案について「決着のついた議論を再び蒸し返すだけ」(佐藤勉・自民党国対委員長)と、野党側が求める審議に応じない方針を確認した。

党が、法律の違憲性などを国会で問い直すために、成立から九五ヵ月を迎えた二月十九日に共同提出した。廃止法案の取り扱いを協議する衆院議院運営委員会議事会では、早期の審議入りを求める野党に対し、与党は回答を保留してきた。安倍首相は、安保法が施行された二十九日の国会で、廃止法案について「廃止すれば日米の同盟の絆は大きく毀損される」と表明。首相の意向を受け、与党は審議しないと決めた。

や衆院補選の争点になれば与党が負けるという不安の裏返しだ」(山井和則民進党国対委員長代理)と反発している。

今国会の会期は六月一日までで二ヵ月残っている。廃止法案は審議入りせず会期末を迎え、継続審議の手続きが行われない場合、廃案となる。

他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とした安保法は、多くの憲法学者が違憲性を指摘する中、政府・与党が昨年九月に成立に持ち込んだ経緯がある。廃止法案は、民進党に合流する前の民主、維新両党と、共産、社民、生活の計五

野党側は「安保法の問題点が明らかになり、参院選

### 安全保障関連法廃止法案をめぐる国会の動きと今後の日程

2月 19日	民主、維新、共産、社民、生活の野党5党が「安保法」提出
3月 17日	衆院議院運営委員会理事会で野党が「安保法」の審議入りを与党に要求
19日	「安保法」成立から半年。「安保法」は審議なく提出から1ヵ月経過
27日	民主、維新両党が合流し、民進党を結党
29日	「安保法」が施行。2016年度予算が成立
30日	与党が「安保法」を今国会中に審議しない方針を決定
4月 5日?	環太平洋連携協定(TPP)関連法案が衆院で審議入り
24日	衆院補選(北海道5区、京都3区)投開票
5月26、27日	主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)
6月 1日	通常国会会期末
7月?	参院選